

高崎山史上 最恐女子



B群第18代 第1位 ヤケイ

2021（令和3）年7月30日、高崎山史上はじめての出来事が起きました。B群の第1位にメスザルが就任したのです。彼女の名前は「ヤケイ」といい、その家系は、祖母の「オレケイ」の頃から、代々B群のメスザルの中で第1位の座にありました。ヤケイの母親である「ビケイ」は気性が荒く、ヤケイの祖母である「オレケイ」を力で倒し、メスザル第1位の座を奪ったサルでした。

そんな母親ビケイの元で育ったヤケイですが、2020（令和2）年以前の行動については特に目立ったものはなく、「ごく普通のメスザル」という印象でした。

ヤケイが注目され始めたのは2021（令和3）年の2月頃からです。この時季は高崎山のサルたちは発情期にあり、当時B群第2位だった「マクレーン」はヤケイに夢中になっていました。ヤケイがどこに行くにも常に一緒に、ヤケイは自分に夢中になっているマクレーン

を利用したのでしょうか。それまではB群のメスザル第1位だった母親のビケイには遠慮がちでしたが、3月に入った頃からヤケイ自らビケイの方へ近づくなど、威圧をするかのように接しはじめました。

そして2021（令和3）年3月15日、ついにヤケイはサル寄せ場の中で母親のビケイと衝突したのです。それまでは母親として、またB群のメスザル第1位としての威厳を保ってきたビケイですが、マクレーンを背景にして急速に力をつけてきたヤケイとは、母娘とはいえども、権力争いを避けることができなかったのでしょうか。ついに2頭は咬みつくなどの荒々しい戦いになりました。序盤こそお互いに譲らず取っ組み合いの状態でしたが、次第にビケイが劣勢になり、ついにヤケイに背を向けて逃げるような格好になりました。ヤケイはその機を逃すことなく追撃してビケイの尻尾に咬みつくとビケイはたまたま鳴き声を上げ、その一撃を最後にビケイはヤケイから逃げるようになってしまいました。ビケイとしては皮肉なもので、母親から腕力で奪い取った権力の座を、今度は自分が我が娘から同じように腕力で奪われることになったのです。

この戦いを境にB群メスザル第1位となったヤケイでしたが、その座でとどまることを良しとしませんでした。今度はオスザル社会へも積極的に介入し、自らの腕力を持ってオスザルを倒すことによって自分の地位を確立しようとし始めました。観察する限りは「オスザルにあえて戦いを挑み、腕力で勝利する。」という単純な方法で、順位の低いオスザルたちは相手にせず、第4位以上の高順位のオスザルに立ち向かっていきました。そうして、ヤケイはオスザルを相手に1対1で対決し勝利し



ていくという図式を作り上げ、上位のオスザルたちを1頭1頭倒していきました。

しかし、ヤケイもそう簡単にオスザルたちを退けることはできませんでした。特に当時B群第3位だった「ゴエモン」はヤケイに対し執拗に抵抗を続けました。ゴエモンに勝負を挑みはじめた当初は、腕力的にはほぼ互角かあるいはゴエモンの方が優勢でしたがヤケイはその後、何度も挑戦し真っ向勝負では敵わないと見るや、今度はゴエモンの背後から襲いかかるようになりました。幾度となく背後からヤケイに突然襲われるようになったゴエモンは、さすがにヤケイを見ると逃げるようになりしました。この頃には、以前ヤケイに夢中になっていたマクレーンでさえ、ヤケイが近づくと怯えて逃げ出すようになっていました。





そうして2021（令和3）年5月上旬には、当時B群第1位の「ナンチュウ」に次ぐ地位を得るに至りました。高崎山の歴史の中で、メスザルが第1位のオスザルに次ぐ力を持つことはあったのですが、これまでのメスザルたちは群れの第1位と仲良くなり、その関係を背景に他のサルに対してイニシアチブを取るといった第1位のオスザルへの依存で成り立つ関係であったのに対し、ヤケイの場合は、第1位のオスザルに依存していないことが、これまでのメスザルたちとの大きな違いでした。その違いは第1位であるナンチュウの地位を脅かす可能性がある私たちにも容易に想像することができました。

そして、実際に地位が逆転する出来事が2021（令和3）年6月25日に起きました。B群が小麦の餌を食べている時間に、ナンチュウはサル寄せ場内の切り株の上で小麦を拾っていました。そのすぐそばでヤケイも小麦を拾っていました。その時、近くの子ザルがヤケイの間近にある小麦の餌を拾ったのです。ヤケイはこれに激怒し、その子ザルに咬みつきました。それを見ていたナンチュウはすぐさま切り株から降り、ヤケイに向かっていきました。2頭は最初こそお互いを両手で叩き合う程度の軽いものでしたが、突如ヤケイがナンチュウの肩口に咬みつきました。ナンチュウも負けずにヤケイに咬みつこうとしますが、なかなかヤケイに咬みつくことができません。そのうちナンチュウは劣勢になり、鳴き声を発



してヤケイから逃げるように遠ざかりました。わずか数分間で決着はつきました。それ以降ナンチュウはヤケイが近くに来ると逃げるようになりました。

その後もヤケイとナンチュウの関係はかわらず、2021（令和3）年7月30日に高崎山で初めてヤケイがメスザルにして群れの第1位となったのです。

